

## 採択拠点の拠点形成概要及び採択理由

【分野名：学際、複合、新領域】

大 学 名	北海道大学	整理番号	J - 3
拠点のプログラム名称	スラブ・ユーラシア学の構築		
中核となる専攻等名	スラブ研究センター		
事業推進担当者	(リダ- ) 家田 修 外19名		
<p>( 拠点形成の概要 )</p> <p>本拠点形成プログラムはスラブ研究センターが培ってきた世界的研究拠点としての実績を踏まえつつ、地域研究を開放性や相関性の方向で刷新し、スラブ・ユーラシア全域（旧ソ連東欧地域）、ひいてはユーラシア全体に関する新たな認識の枠組みを提示する。即ち本プログラムは世界に先駆けてスラブ・ユーラシア学という新領域の学問形成を目指す。そこでの新たな分析概念は中域圏である。つまり、スラブ・ユーラシア内の各地域は地球化の中で隣接外部世界から引っ張られ（遠心力）、極東シベリア、中央ユーラシア、中・東欧などの中域圏が生まれた。各中域圏では内外境界の流動化と共に、民族や資源をめぐる様々な軋轢が生まれた。今日のスラブ・ユーラシアは旧社会主義圏としての求心力と外部世界からの遠心力がせめぎあう、中域圏のゆるやかな束として理解される。ところが世界的な研究の動向はこの現実とは逆に、地域細分化傾向にある。本プログラムでは中域圏を隣接地域と旧共産圏との相互関連の中で比較分析し、スラブ・ユーラシアの全体像を描き出す。</p>			
<p>( 採択理由 )</p> <p>スラブ・ユーラシア地域を対象とする学際的研究の蓄積を基盤に、「中域圏」というあらたな分析概念によってこの地域全体の理解を目指す意欲的な拠点である。また地域相互の関係性を重視する「中域圏」概念を導入することは、研究の細分化を克服することによって、新たな地域研究の方向性を開拓し発信することが期待できる。</p>			